

200 年 月 日

〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1番1号参議院議員会館 506 号室
ファックス: 03(3500)4640 電子メール送信フォーム: <http://www.mizuhoto.org/04/iken.php>

福島瑞穂 様

拝啓

日頃、政務にお取り組みいただきありがとうございます。

さて、ご存じのように、水銀問題は、地球温暖化や気候変動に次ぐ重要課題として、国際的な取り組みが続けられていますが、各国の活動及び対策の母体となった水俣病を経験した日本では、対応がはなはだしく遅れています。

現在、魚介類への水銀汚染、さらに、海洋哺乳類への凝縮された有害化学物質汚染に対処していくことが急務となっていますが、それさえ、満足な対応がなされていないのが、日本の現状です。特に、イルカ肉に含まれる水銀、メチル水銀、PCB は、日本政府が定めた規制値を大幅に超え、水俣病発生時の魚介類の汚染値を超えているものもあることが、これまでの調査によって明らかになっています。

魚介類の消費地はイルカ肉の消費地と重なっているため、今後、児童を含めた地域住民への健康被害が予想されます。イルカ肉の汚染については、**捕鯨問題と切り離して、食の安全問題として緊急な対応が必要です。** いっぽう、アンケートなどによる意識調査によって、現在、この問題についての厚生労働省の対応が、ほとんど機能していないことが明らかになっています。まずは、イルカ肉の汚染の実態を消費者に周知させて、消費者自身の判断により、食品を選択できる体制を作ることが急務です。そこで以下のことをお願いします。

*** 日本政府が食の安全のために定めた暫定的規制値を超える汚染食品を販売禁止にし、市場に出さないようにしてください。**

*** イルカ肉のすべてのパッケージに、警告ラベルを貼ることを徹底してください。**
これはすでにタバコや残留農薬等で、現在、政府が行なっていることです。

特に、自閉症などの原因の一部は水銀摂取によるものであるとする学者もおり、水銀禍を受けやすい胎児、児童などへの影響が懸念されています。どうぞ上記の対応を至急お取りくださるよう、お願い申し上げます。

敬具

住所・氏名
